

へ"議会だより っかい

第98号

2021年8月



住民にわかりやすい議会の活性化を目指す

特集

議会改革ランキングで 道内2位獲得

新型コロナの影響もあるが、ふるさと応援制度推進に期待	...	3
ワクチン接種状況と供給状況、稼働始めたMRIの運用状況を調査	...	4
直営化されたふるさと交流館を現地調査		5
一般質問(田村、横田、中村、木嶋、宮越の5議員)		6
定例会・臨時会のまとめ		11
議会のうごき		12

シリーズ 町民に聞きました

歩み続ける議会改革の目的とは12



北海道別海町議会

議会改革ランキングで道内2位獲得

2020年度の議会改革度調査ランキングにて、別海町議会の改革が高く評価されました。特に「住民参画」が評価され、今後もICTを活用した情報共有、住民との意見交換などに力を入れていきます。



早稲田大学マニフェスト研究所が発表した、2020年度の議会改革度調査ランキングで、別海町議会が全国25位、道内2位の評価を受けました。

オンラインでの会議の開催や一般質問の要点をチラシにして傍聴を呼び掛けるなどの取り組みが評価され、「住民参画」の順位が全国で10位となり総合順位を押し上げました。

議会改革度調査は2010年度から行われ、今回で11回目、全国1404議会から回答があり、ランキング化されています。

今回の調査では、「情報共有」「住民参画」「機能強化」の観点で点数化されました。コロナ禍における対応も含め、オンライン会議などICTを活用した議会運営も評価されています。

今回の調査では、「情報共有」「住民参画」「機能強化」の観点で点数化されました。

当議会は、議会改革の先進地である芽室町議会への視察を生かし、2016年度から「議会活性化計画」をつくり改革に取り組んでいます。

その結果、2017年度の全国922位から2018年度212位、2019年度73位と年々順位を上げてきています。

今後も、制定の準備を進めている議会基本条例をはじめとして、ICTを活用した情報共有、住民との意見交換などを行い、議会の活性化を進めていきます。

■別海町のランキング結果

年度	全国	北海道
2020	25位	2位
2019	73位	6位
2018	212位	8位
2017	922位	300位以下はデータなし
2016	1116位	

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 木嶋 悦寛 副委員長 佐藤 初雄 委員 小林 敏之・大内 省吾・横田 保江

新型コロナウイルスの影響もあるが、 ふるさと応援制度推進に期待

新年度新たな委員会構成になつて取り組んだ主な調査は次のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 別海高校通学バス助成事業
- まちなか3館連携
- ふるさと応援制度推進事業
- 本庁舎補修事業の全体計画
- 学校プールの運営

前期からの引継ぎ事項もあり、課題や取組を整理しながらの調査開始となりました。

新型コロナウイルス感染症対策

町立別海病院での軽症者の受け入れ開始、道の発表に合わせた感染者情報の開示基準、ワクチン接種の進捗や、緊急事態宣言下での社会体育施設の利用制限や中体連の対応などについて説明を受けました。

委員からは、質問が相次ぎ、ワクチン確保・応援職員の感染対策・町の経済対策など、現在や今後の感染症の影響を抑えるために確実な取り組みが求められました。

ふるさと応援制度推進事業

今年度から「ふるさと応援・情報化推進室」を創設。独立した部署により進められ、今年度の寄付額の目標は5億円です。制度そのものを徹底的に研究し、根室市や白糠町など先行自治体がなぜ伸びているか検証し、当町の課題と可能性を探っているとの報告を受けました。

新たな体制から数カ月、すでに効果が出ており、予算の増額補正も組んだことから大いに期待するところです。

ふるさと納税サイト一覧▶



別海町の返礼品で人気のホタテ。ふるさと応援サイトの活用も大切だ。

別海高校通学バス助成事業

定期券購入から助成金の受け取りまでの期間が長く保護者に負担感があった制度ですが、助成金受け取りまでの期間を短くすることが検討されています。

課題は残りますが、一定の改善策が取られたことから、いったん調査を終了し、今後は定期券発行の仕組みそのものの調査を実施し、根本的な制度の在り方を検証していきます。

学校プールの運営

町内には3カ所の温水プール以外に5カ所（西春別・上春別・中春別・上風連・中西別）の地区プールがあります。どこも、約30年が経過し老朽化が進んでいることから、各地域で説明会が行われました。

その後のアンケート調査の結果、中春別と中西別地区は存続の意向でした。

しかし、中春別は学校での感染対策が取れないとのことになり、授業では利用しないことについて検討中とのことでした。

西春別と上春別は廃止。上風連は休止とし、今年度中に判断するとのことでした。

教育委員会では、夏休み中に温水プールまでのバスを運行し、各地区5〜6回程度はプールを利用でき、図書館も併せて利用できるよう送迎が行われます。

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 今西 和雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・瀧川 榮子・宮越 正人

ワクチン接種状況と供給状況、稼働始めたMRIの運用状況を調査

新型コロナウイルス感染症の終息は一向に見えて来ず、感染力の強い変異株の拡がりに、不安が増しているのが現状です。

コロナワクチンの早期接種が望まれています。

別海町の16才以上のワクチン接種対象者数は、1万23

27人です。

6月5日から高齢者（65歳以上）のワクチン接種が始まり、順調に行われていると報告がありました。

すでに、医療従事者、高齢者施設の入所者・従事者、児童福祉施設（幼稚園・保育所など）の職員、障がい者施設の入所者や従事者など順次接種が行われています。

6月21日現在、全接種対象者に対し、1回目31・5%、2回目6・6%の方が接種を受けました。

また、基礎疾患を有する人、64歳以下の方への接種に向け準備中との報告がありました。

今後の大きな課題は、ワクチンの安定供給が不透明なことです。ワクチン供給の流れは、国から道へ、道から各自自治体の申込数に応じて供給さ

れることになっています。

今後のワクチン供給状況の情報収集に努め、一刻も早く安定供給がなされるよう、委員会として所管に申し入れをしています。

なお、接種作業の協力体制として、病院関係者はもちろんのこと、役場職員も平日7名、土・日は12名で、万全を期して対応していると報告がありました。

今後もワクチン供給・接種状況について継続して調査を行っていきます。

MRI運用開始、当面は完全予約制で

町立別海病院に導入されたMRIは、5月6日に運用が開始されました。利用実績は5月61件、6月（18日現在）55件となっています。

当面は完全予約制で、平日午後1時30分・2時30分・3時30分の3枠で運用し、その状況を踏まえて、マニュアル

を策定、医師などと協議の上、運用拡大を図っていくと報告がありました。

これまで、MRI検査を必要とする方が、多い時には年間200件近くあり、町外の医療機関での検査を余儀なくされていました。

今後は、時間的に大きな負担から解放されるとともに、かかりつけ病院で検査ができることで、町民の皆さんの安心に繋がると考えます。

委員会はこれからの稼働状況とともに、病院経営の中で収益性についても継続して調査を行っていきます。



別海病院に導入されたMRI

ワクチン接種会場で誘導をする役場職員

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 松壽 孝雄 副委員長 小椋 哲也 委員 中村 忠士・松原 政勝・田村 秀男

直営化された ふるさと交流館を現地調査

令和3年第1回定例会最終日に、委員会の構成替えがあり、互選の結果、委員長に松壽議員、副委員長に小椋議員が選任されました。

議員任期満了まで、この5人の新しいメンバーで当委員会の所管事項を調査することになりました。

酪農研修牧場の運営

別海町酪農研修牧場が4期連続の赤字となる見通しから、現状の施設規模のままで施設運営に限界があります。

公の施設として、何を目的にやっていくのか調査と検証が必要であり、継続して調査します。

新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策

町内飲食店経営持続化支援金については、申請件数13件、交付金額314万円で事業を完了しました。

町内飲食店等飛沫感染等対策補助金については、4月15日現在で申請件数60件、補助金1356万円で継続中です。

ふるさと交流館の運営

3月定例会以降の動きの報



ふるさと交流館現地調査

告を受け、4月9日に施設の明け渡しが完了しました。

委員会として、直営で運営する前に現地調査を5月12日に行いました。

緊急事態宣言下と水質検査の保健所の許可を待っての営業開始となり、予定より遅れましたが、7月1日にオープンとなりました。

令和2年度の除雪経費

町有車12台、民間車80台、出動日数77日で1億1216万円の委託費でした。

第7次別海町総合計画の第3次実施計画

各担当部課からローリング実施計画の説明を受けるとともに、公共施設の建設・更新計画についても概要説明を受けました。

エゾシカ捕獲実績および計画

令和2年度の捕獲頭数は3022頭の実績となり、捕獲費用は4771万円で内訳は町費1176万円、補助金2581万円、中山間1014万円でした。

令和3年度の捕獲計画は3650頭で、5月27日現在1068頭を捕獲しています。

第2回定例会で、閉会中の所管事務調査を次のとおり決定しました。

- ①中山間地域等直接支払制度について
- ②新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について
- ③水産系副産物再資源化施設の運営について
- ④個別計画の策定・更新計画について
- ⑤公共施設の建設・更新計画について
- ⑥別海町酪農研修牧場の今後について
- ⑦バイオガス関連施設について



議員5人による一般質問

質問 町制施行50周年の記念式典の実施時期は



田村秀男議員

回答の要約

令和4年秋頃に「みなくる」の落成式と「友好都市サミット協議会」の同時開催を計画している。

行政執行方針の重要政策への質問

質問 当町の魅力と発信方法は。

答弁 主に、農業・漁業・観光の3分野が代表的で、広報誌やSNS発信のほか、「FMはな」を活用して魅力発信を検討・実践する。

質問 光回線を活用した「新しい地域情報化の方向性」は。

答弁 官民の情報交換が浸透後、必要性を検討する。

質問 当町のペーパーレス化と電子申請は。

答弁 各部署にタブレット端末などを配備し、全庁的な環境を整えている。

申請事務にとどまらず、より住民の利便性が高まる窓口対応の在り方を探っている。

質問 新型コロナウイルス感染症の影響や光回線の整備により、総合計画の見直しは。

答弁 中間年を予定する「主要施策と成果指標（KPI）」の見直しに向け、構築作業を進めている。

質問 町制施行50周年の記念式典の内容は。

答弁 「みなくる」の落成式と枚方市、四万十市、名護市で構成する「友好都市サミット協議会」の同時開催を計画し、大ホールを活用した演奏会を想定している。

「町制施行50周年の節目」と多くの町民の皆様が心待ちにしている「みなくる」の完成を、町民が集い、祝っていただけの記念式典にする。



完成が近づく「みなくる」と町制施行50周年を迎える

質問 土台を築き、種をまき1年の施策は。

答弁 具体的施策は明確化していないが、「みなくる」を通じて住民同士のふれあいや繋がりが「ふるさと別海」を強く感じることに寄与し、持続可能なまちづくりの実現に貢献するものと期待している。

質問 町職員の人材育成は。

答弁 「別海町人材育成基本方針」を時代に即した基本方針となるよう、必要な見直しを行い、持続可能なまちづくりに不可欠な人材育成に繋げていく。

質問 町民・議会・行政が一緒に取り組む「行政改革大綱」の必要性は。

答弁 財政基盤以外にも着目し、社会変化への対応や、事務の簡素化・効率化、行政の信頼性の確保、政策のゴール設定などの観点から、必要な制度、事業の見直しを検討する。



詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問

質問

高齢者の見守り体制の 充実について



横田保江議員

質問 独居高齢者の安否確認と日常生活相談事業の取組状況と今後の課題は。

答弁 安否確認や日常生活の相談事業は、自宅訪問と電話連絡をそれぞれ毎月2回行なっている。

令和2年度の利用者は112名で、毎月業務委託先から高齢者などの状況報告を受け、必要に応じて高齢者宅を訪問し状況を把握している。
課題は、本事業の利用申請が民生委員や地域包括支援センター、各介護サービス事業者からの相談や情報提供による受付のみであること。

回答の要約

人感センサーのような機能を現在のシステムに追加する考えは今のところないが、課題解決に向けて検討と費用対効果などを調査していく。

広く住民に認識していただくための周知に努めたい。

質問 緊急通報システムについての今後の課題は。

現在のシステムに人感センサーなどの機能を追加する考えは。

答弁 システムの課題としては、鍋を焦がしてしまい煙センサーが反応、殺虫剤を使用しガスセンサーが反応、高齢者の不注意による誤報、人やペットが誤ってシステムを押すなどがあった。
各種センサーの設置状況を確認して、必要に応じて場所

の変更などの対応をしていく。人感センサー機能の追加は可能だ。

しかし、例えば、家の中で利用者が倒れていたとしても、カーテンやペットの動きでセンサーが感知する事例や、利用者からも（見張られているようだ）など心理的抵抗があるなどの課題も多い。

このため、現在のシステムに人感センサー機能の追加は今のところ予定していない。

質問 日常生活で使用する

電球・冷蔵庫・水道などに、センサー機能を設置して、見守りをしている自治体がある。

設置も簡単で費用も安く、点灯による情報のみが、別居する家族のパソコンやスマートフォンに送られ、対象者のプライバシーも守られる仕組みになっている。

この仕組みについて調査・検討を行うべきと考えるが。

答弁 人感センサー機能の



別海町の緊急通報システム機器、操作が必要である点と、誤報が課題となっている

追加の必要性については、課題解決に向けて検討と費用対効果なども含めて、調査していきたい。

緊急通報システムは、急病や事故・火災用。加えて常時安否確認できる物が必要。

質問を
終えて



議員5人による一般質問

質問 別海町の「食育推進計画」の策定計画は



中村忠士議員

質問 国は今年3月末に第4次食育推進基本計画を決定した。これを踏まえて、町の新計画も策定されていくものと思うが、スケジュールは？

答弁 令和4年5月までにアンケートを行い、4年度中に計画策定委員会、懇話会、町内検討委員会を設置し検討する。

令和5年1月までにパブリックコメントを実施する。

質問 食育は、家庭、認定こども園など、学校、地域、行政の連携によって推進が図られる。

回答の要約

令和4年度中に策定委員会など設置し検討する。

役場内の推進体制、各部署の連携はどうなっているか。

答弁 副町長や各部長で組織する策定委員会、関係各課で組織する庁内検討委員会、横断的連携を図っている。

町の新型コロナウイルス接種、遅れの原因は

質問 別海町では高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種は6月5日から始まった。

中標津町では高齢者の半数以上、羅臼町では半数近くが一回目の接種を5月末に終えている。この差はどこから来たのか。

答弁 北海道が主体となつて実施した「医療従事者等」の接種において、別海町へのワクチン供給が他町より遅くなったことが原因だ。

質問 なぜ、道からの供給が遅れたのか。

答弁 理由を北海道にただしたが、はっきりとした説明はなかった。

質問 ワクチン接種の今後の計画は？

答弁 高齢者の終了時期は7月末を予定している。64歳以下については、7月下旬をめどに高齢者の2回目の接種と並行して行う計画。

また、6月以降、障がい者支援施設などの入所者など、保育園、幼稚園の職員に接種を開始したほか、今後は教職員を対象に接種を計画する。なお、こうしたスケジュールも、国からのワクチン供給

によって左右される。

質問 別海町は昨年2月から今年5月末までに、町長が参加する「対策本部会議」を4回しか行っていない。

根室市は同期間で133回行い、会議内容をホームページで公開している。

市長がどういう指示を出したかもよくわかる。

町長のリーダーシップが見える形で伝わってこない。

答弁 感染状況など自治体を取り巻く環境や対策の考え方はそれぞれ異なっており、一概に比較はできないものと受け止めている。



医療従事者のワクチン接種

質問を終えて

「町長のリーダーシップが伝わってこない」との指摘に町長の答弁がなかったことは残念です。



詳細はこちらからご覧になれます

議員5人による一般質問

質問 野付湾での地球温暖化対策に、質 ふるさと応援寄付の活用は



木嶋悦寛議員

回答の要約

野付湾、風蓮湖や多数の河川など、環境の保全による水産資源の回復に寄付を充てることも可能だ。産業と環境保全の両立に向けた事業が実施可能となるよう制度設計を検討したい。

がった。

すでに計画期間が過ぎているため公表、更新は行っていない。

質問 平成14年度に「別海町地域新エネルギービジョン」が策定されたが、現在の別海町における環境政策にとってどのような位置づけになっているのか、また、なぜ公表されていないのか。

答弁 このビジョンでは当町の潜在的エネルギー賦存量（バイオマス資源などの発生量から導かれる理論上のエネルギー確保量）とその活用によるCO₂削減量が調査された。その結果、畜産系バイオマスの活用が最も有力であることが明らかに、別海町バイオマス産業都市構想につな

質問 産業と環境保全が両

立できる取り組みとして、野付湾のアマモを生かしたブルーカーボン（海藻・藻類による二酸化炭素固定）の推進にふるさと応援寄付金を使っている。

答弁 水産資源の回復に寄付金を充てることは可能だ。現在も数ある使途候補の中で、自然環境保全や野鳥の保護など選択し多額の寄付がある。別海町への注目度を上げる

手法としてあえて寄付額設定の最低額となる千円のコースを用意して、限度額に近い人や寄付額の低い若者など幅広い方に応援してもらえ、取り組みについて検討したい。



CO₂の排出と固定化のイメージ図

質問 農水省ではバイオ炭（森林や畑から発生するバイオマス資源を炭化したもの。これまでは土壌改良剤として活用）を活用し、農地での二酸化炭素の固定化の可能性を研究している。酪農から排出される温室効果ガスの収支を調整する方法として、可能性を探ってみては

答弁 バイオ炭の活用に関し、農協など関係機関との協議も行っていないことから、積極的に活用していく考えは現時点では持っていない。

しかし、農業分野でも、さまざまな技術開発や取り組みが加速していくと認識しているので、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

質問 当町では地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、別海町地球温暖化対策実行計画「事務事業編」を策定している。

しかし、本当に必要なのは地域の生活や産業での対策「区域施策編」であり、策定を視野に地域の具体的な行動計画を作成してはどうか。

答弁 区域施策編を作るか作らないか、今すぐこの場で答弁はできない。

事務方としっかりその必要性などについて研究し、前向きに考えたい。



議員5人による一般質問

質問 光回線を活用したスマート農業の推進は



宮越正人議員

質問 光回線の整備が本格的に開始された現在、当町の酪農・畜産業に資する「スマート農業構想」は持っているか。

答弁 スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術などを活用して、省力化や高品質化を実現することを目的とした新たな農業スタイルである。

現在、国内外で数多くの先端技術が実用化されているほか、現場実装に向けた国の実証試験が全国で展開されている。

現在、町独自のスマート農業構想というものは策定して

回答の要約

これからの酪農に大きな意義のある取り組み。中小規模の牧場でも利用しやすい町の支援を検討する。

いないが、平成28年に策定した「別海町農業・農村振興計画」の中で、農業経営体の多数を占める家族経営の持続的な発展に向けて、労働負担の軽減を図るスマート農業の導入について推進することとし



繋ぎ牛舎用のロボット搾乳機 提供：JA道東あさひ

ている。

当町では、早くから先進的な取り組みを関係機関と連携の上で実施しており、今後も大・中・小、それぞれの経営規模にあわせて導入可能なスマート農業施策を検討していく必要があると考えている。

質問 「スマート農業」実現のため、各関係機関との協議・研究は行っているか。

答弁 スマート農業の実践として、畜産クラスター事業などの活用により、搾乳ロボット、自動給餌機、自動哺乳機などの導入が進んでいる。

また、令和2年度には、東京理科大学が代表機関となり実施している、労働力不足の解消に向けたスマート農業実証プロジェクトに、町は構成員として参加している。

質問 「スマート農業」の是非を含め、基幹産業に対する町長の所感は。



繋ぎながら搾乳を自動で行なうロボット 提供：JA道東あさひ

答弁 スマート農業推進などのために光回線の設置を決意し実現しました。

スマート農業の実践は労働力不足の軽減、生産性向上などの効果が期待でき、経営上も非常に大きな価値があると考えています。

ただし、導入には大きな費用がかかるケースも多く、大規模な牧場での活用が目立っている状況である。

町としては、中小規模の牧場でも利用しやすい支援を検討したいと考えている。

定例会・臨時会のまとめ

令和3年第2回定例会会議結果報告

コロナ感染症対策と ワクチン接種に審議集中

第2回定例会の概要

6月21日に招集され、会期を6月24日までの4日間に決定。

1日目 6月21日

町長から行政報告、副町長から提出案件の概要説明と担当部・課長から議案の内容説明が行われました。

町長からの行政報告

- 職員の酒気帯び運転に関する懲戒処分
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 産業の動向（当町の農業産出額は、668億2千万円で全国の生産順位が3位となる）
- 光ファイバ整備事業の進捗状況
- コロナ禍の影響による本年

度の町のイベント

- 日米共同訓練及び実動対抗演習

議案などの内容説明

- 各会計補正予算4件を予算決算審査特別委員会に付託
- 条例の一部改正6件
- 工事請負契約の締結3件
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画
- 別海町特定環境保全公共下水道別海終末処理場の建設工事委託に関する協定の締結

- 各会計繰越計算書報告3件
- 専決処分（工事）の報告

2日目 6月22日

議員5人が一般質問。

3日目 6月23日

本会議を休会し、予算決算審査特別委員会と各常任委員会を開催。

予算に関する主な質疑

- ふるさと応援寄附金（木嶋、小椋議員）
- ふるさと応援制度推進事業（中村、松原、瀧川議員）
- 新型コロナウイルス感染症対策（瀧川、中村議員）
- ふるさと交流館補修事業（瀧川議員）

4日目 6月24日

最終日は、特別委員会付託審査結果報告と各議案の討論・採決が行われ全ての案件が全会一致で可決。

小林議員発議による別海町議会会議規則の一部改正を可決（協議又は調整を行うための場」を条文別表に明記、欠席の届出理由を明確にするなどの改正）。

戸田議員発議による林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書を原案通り可決。

木嶋議員発議による地方財政の充実・強化に関する意見書を原案通り可決。

議員力の向上を図るため、

全議員を対象とした研修会に議員派遣。

各常任委員会の閉会中の継続調査事件を決定しました。

第3回臨時議会の概要

3月29日に開催され、町長から令和3年度沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練分散・実施、別海町スポーツ選手後援会、根室北部消防事務組合別海消防署東出張所救急隊運用開始式についての報告後、令和2年度一般会計補正予算、別海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定が審議されました。

その他専決処分（工事）2件。



シリーズ
**町民に
聞きました**
〈番外編〉

歩み続ける議会改革の目的とは

この数年継続的に進めている議会改革の目的や効果について、議会サポーターの西科さんにオンラインでお話を伺いました。（写真左はビデオ会議の様子）



別海町議会サポーター 西科 純 さん
芽室町議会事務局を経て公立芽室病院事務長。議会技術研究会の共同代表としても活動。令和元年から別海町議会サポーター。

広報委員 議会改革が進むにつれ、さまざまな変化が起きています。その定着をどのように行っていくと考えますか。

西科さん 本当の意味での定着には、数年かかると思います。ただ、歩みを止めるのではなく、進みながら定着させていくべきです。

別海町議会の改革の「肝」は、一般質問を核とした政策形成にあると考えています。

その譲れない核を心に据えて、定期的に内部評価を行い、議員間の認識を共有していくべきだと思います。

逆に質問なのですが、改革の内容と進捗について議員間の認識の違いはありますか。

広報委員 認識の違いはあります。議員間討議という全員で議論する場を正式に設けたことで、各々の考え方や認識について共有する機会は持っているといます。

議会改革ランキング（2ページ参照）についてはどう考えていますか。

西科さん 客観的な評価としての価値もありますが、ランキングの順位に一喜一憂するのではなく、ランキングを通信簿として、全国改革の状況や流れなどを見通すツールとして役立ててはどうかと思います。

広報委員 議会改革はどのように町民、地域に影響を与えていくと思いますか。

西科さん 議会改革を通じて議会が丸となり、それにより町長や職員など執行機関がどう変わっていくのか。そして、それが住民にまで分かるように浸透していくことが大切です。そのためには、そこまで改革の歩みを続けることが必要だと思います。

議会の傍聴の際はマスクを持参ください！

議会の会議は、誰でも傍聴することができますが、コロナウイルス感染症対策のため、発熱がなくマスクを持参される方に限らせていただきますのでご了承ください。

令和3年9月定例会の予定

9月13日(月) 10時～

1日目 本会議(議案の説明・質疑など)

9月14日(火) 10時～

2日目 本会議(一般質問)

9月15日(水) 10時～

3日目 本会議(一般質問)
予算決算審査特別委員会

9月16日(木) 10時～

4日目 常任委員会

9月17日(金) 10時～

5日目 本会議(議案の討論・採決など)

9月										
			1	2	3	4				
5	6	7	8	9	10	11				
12	13	14	15	16	17	18				
19	20	21	22	23	24	25				
26	27	28	29	30						

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページでご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

議会のうごき 3月定例会終了後から6月定例会まで

1 議長、副議長、各議員(委員)の動向について

期 日	内 容	備 考
3月26日	別海町スポーツ選手後援会設立総会 (別海町)	正副議長
3月28日	別海消防署東出張所救急隊運用開始式 (別海町)	正副議長・関係議員
4月21日	根室町村議会議長会定期総会 (標津町)	正副議長

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
5月31日	根室北部消防事務組合議会定例会 (中標津町)	関係議員
	中標津町外2町葬斎組合議会定例会 (中標津町)	
	根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町)	

※議案等の関係資料は、議会事務局に保管しています。

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの**密**を避けましょう！